

燦々

SANSAN
光り輝く



特集 平成29年度JAとまこまい広域
ホルスタインショウ

(株)小泉農場(厚真地区)の小麦収穫風景

JAとまこまい広域広報誌
燦々光り輝く
No.185



編集・発行

〒059-1693
JAとまこまい広域本所
TEL 0145-27-2241 FAX 0145-27-3941
北海道勇払郡厚真町錦町10番地2

平成29年8月10日
ホームページアドレス
http://www.ja-tomakomaikouiki.com
メールアドレス
info@ja-tomakomaikouiki.com

印刷 株式会社 須田製版

JAとまこまい広域

フォトコンテスト 作品募集



応募期限 平成29年
9/30(土)

JAとまこまい広域では、入賞作品を中心に平成30年度のカレンダーを制作致します。プロ・アマを問わず、どなたでも参加できますので、写真に自信のある方、コンテストにチャレンジしてみたい方は奮ってご応募下さい。

《テーマ》

「地域の元気な農作業風景」

「魅力あふれる季節感のある風景」

あなたの作品が
カレンダーに!!



応募方法・入賞等、詳しくは <http://www.ja-tomakomaikouiki.com>

作品の送り先
問い合わせ先

〒059-1693 北海道勇払郡厚真町錦町10-2 JAとまこまい広域 営農部営農課「フォトコンテスト」係
TEL:0145-27-2246 Eメール:info@ja-tomakomaikouiki.com



プレゼント

下記解答用紙を切り取り、P12のまちがいさがしの答え、イラスト、身近な話題や感想を書き添えてお寄せ下さい。抽選で図書カードをプレゼントいたします。FAX(0145)27-3723に送信して下さい。ハガキでも受け付けています。(宛先はクイズ同様、JAとまこまい広域本所・営農課まで)多くのご応募お待ちしております。

締切 8月31日 (木)

当日消印有効。発表は9月号です。

キリトリ線 ✂

●イラスト

●8月号のまちがいさがしの答え

--	--	--	--	--

●今月号の感想や最近の出来事

郵便番号: 〒

—

住 所:

氏 名:

●組合員
●一般

年 齢:

歳

電話番号:



生ハスカップ収穫祭開催

～炎天のもと、旬のハスカップを求め長蛇の列が～



▲購入したハスカップをそのまま地方発送



▲旬のメロンをはじめ広域産野菜などを販売



▲女性部の試食コーナーも好評だった



▲青年部はフライドポテトを販売



▲子どもたちに好評だった子ども縁日コーナー



▲多くの人で賑わったハスカップ販売ブース

7月8日、JAとまこまい広域は、JA苫小牧支所駐車場にて「生ハスカップ収穫祭」を開催しました。同収穫祭は、ハスカップをはじめとする広域産農畜産物の販売PRと、苫小牧市民に対する地産地消を促進するために例年開催しています。

この日、苫小牧市では真夏日を観測し、今季最高の猛暑であったのにも関わらず、開始1時間前には150人以上の来場者が列をなし、今か今かと販売開始を待ちわびていました。

開会にあたって、秋永徹代表理事組合長は「本年は裏年で収量は若干少ないが、例年より甘酸っぱい大きなハスカップが収穫された。数量限定ではあるが是非お買い求めいただきたい」と挨拶しました。

用意した生ハスカップ約800パック(約400kg)は2時間程度でほぼ完売した他、ハスカップ及び追分アサヒメロン、ほべつメロンの地方発送の予約受付ブースにも受付開始と同時に人だまりができていました。

当日は広域産野菜、加工品も販売され、更には広域青年部による氷室メークインのフライドポテト販売、女性部苫小牧支部による氷室メークインとメロンの試食なども行われました。



▲金融・共済ブース金融共済商品をPR

また、金融・共済ブースでは、各種金融共済商品の見積りや借換相談等の説明窓口が設置され、地域密着型のJA事業PRが行われました。



7月14日、安平町の北海道ホルスタイン共進会場にて「平成29年度JAとまこまい広域ホルスタインショウ」(同実行委員会主催)が開催されました。



▲最高位決定の瞬間



▲未経産最高位となった「エタニティ・ジュエル・ブラック・スモーキン」号



▲経産最高位となった「エタニティ・アレキサンドラ・キャロル」号

当日は広域管内からホルスタイン23頭が出陳し、オールジャパンブリーダーズサービス(株)営業部次長の佐藤和彦氏が審査する中、経産・未経産・ベストスリーフィーメール(同一牧場牛群)合わせて9部門で審査が行われました。

結果は、早来地区の田村祥一さん出陳の乳牛が、未経産の部(「エタニティ・ジュエル・ブラック・スモーキン」号)及び経産の部(「エタニティ・アレキサンドラ・キャロル」号)でそれぞれ最高位の栄冠に輝きました。

また、同一牧場内の未経産牛及び経産牛3頭1組を出陳し、牧場全体の生育等を総合的に評価し序列を決定する「ベストスリーフィーメール」においても、早来地区の田村祥一さん出陳の3頭が1席を受賞しました。



JAとまこまい広域ホルスタインショウ 結果表

最高位賞		1 席		区 分
名 号 エタニティ・ジュエル・ブラック・スモーキン 出陳者 田村 祥一(早来)	1部	名 号	K・1024・チュンキー・ブレーク 小華和 寛紀(早来)	未経産牛
	2部	名 号	エタニティ・ジュエル・ブラック・スモーキン 田村 祥一(早来)	
	3部	名 号	ワカナ・ダビンチ・ロジック・ET 伊藤 雄太(早来)	
	4部	名 号	リッチモンド・CS・スマイル・マテイス 五十嵐 貴満(苫小牧市)	
	5部	名 号	エタニティ・ブラッドニック・エクセレンシー 田村 祥一(早来)	
名 号 エタニティ・アレキサンドラ・キャロル 出陳者 田村 祥一(早来)	6部	名 号	オーシャン・ファンタジスタ・ハーゲン 山田 澄恵(厚真)	経産牛
	7部	名 号	エタニティ・アレキサンドラ・キャロル 田村 祥一(早来)	
	8部	名 号	リバーサイド・スカイ・アイオーン・ドーラ 御溝口牧場(苫小牧)	
		9部	名 号 エタニティ・ジュエル・ブラック・スモーキン 名 号 エタニティ・ブラッドニック・エクセレンシー 名 号 エタニティ・アレキサンドラ・キャロル 出陳者 田村 祥一(早来)	同一牧場牛群

特 集

sansan

平成29年度JAとまこまい広域
ホルスタインショウ



▲審査員を務めた佐藤氏

広域

広域ブロッコリー部会

ブロッコリー出荷最盛期

厚真町上野の選果場では、7月上旬から中旬にかけて広域産ブロッコリーの出荷が最盛期を迎えた。今年は昨年及び平年と同時期の出荷ピークとなり、1日におよそ600〜650ケース（20〜24玉入）の出荷が行われる。

鮮度が命のブロッコリーは、生産者が朝早くに収穫して、その後すぐに選果場で従業員たちが余分な茎や葉を手際よく取り除き、規格毎に選果されたブロッコリーを発泡スチロールに入れた後、氷詰めにして新鮮な状態を保ったまま、道外



▲山積みになされたブロッコリーを手際よく選果



▲選果されたブロッコリーを道外市場に出荷するトラックへ

の川崎市場や名古屋市場を中心に一部道内の札幌市場などへと出荷される。

今年のブロッコリーは、春先の低温の影響で生育が遅れ気味であったものの、その後、気温の上昇とともに状態も回復し、後半に出荷を予定しているブロッコリーの仕上がりも早まっている。また、「今年は病害が少なく、平年と比較しても出荷量、製品率とも良好に推移している」と担当者は話す。

広域ブロッコリー部会では、26戸により約26haの面積を生産し、この後10月末頃まで出荷が続く。取扱数量160トン、販売計画額約8千万円を見込んでいる。

広域

JAとまこまい広域和牛振興協議会 担い手部会設立総会

当JA初の若手専門部会発足

JAとまこまい広域和牛振興協議会担い手部会設立準備委員（池川茂雄委員長）は7月20日、苫小牧市の日胆農業会館にて同部会の設立総会を開催し、全ての議案が承認された。

担い手部会は同協議会員の後継者等を中心とした若手中心の専門部会で、研修会や勉強会を通じ、飼養管理技術の高位平準化を推し進め、各種補助事業などの知識を習得し、会員間での交流を活性化させることを目的としている。

総会で楠野公夫代表理事専務は「当JAで初となる若手の専門部会。将来を



▲楠野専務が若手後継者にエールを送る



▲総会で選任された役員の方々

担う若手を中心となつて組織を作り活動してくれることは喜ばしい」と激励した。また、初代会長に就任した池川茂雄会長は「それぞれの地域の垣根を越え、研修や交流を通して頑張っていきたい」とあいさつした。

JAとまこまい広域和牛振興協議会
担い手部会 役員（敬称略）
会長 池川 茂雄（厚真 池川勝利）
副会長 岩崎 考真
（白老 合同会社いわさきファーム）
理事 東 洋一（穂別 ㈱東農場）
理事 天野 勝晶（白老）
理事 田中 健太（安平 田中哲也）
監事 藤江 祐輔（穂別 藤江政利）

広域

胆振管内JA野球大会

広域野球部、2年ぶりに優勝

7月8日、伊達市のほくでん伊達スポーツ公園球場にて第58回胆振管内JA野球大会が開催され、JAとまこまい広域野球部（監督 且見晴職員）は2年ぶり3度目の優勝を果たした。

今年出場したのは、「JAとまこまい広域」「JA伊達市」「JAむかわ」「ホクレン苫小牧支所」の4チーム。

1回戦はJAむかわと対戦。初回に1点先制したものの、その裏に逆転を許し2回裏にも1点追加され苦しい展開となった。3回表、長打などで1点返し、



▲優勝したJAとまこまい広域野球部のメンバー

なおもランナーを1人おいて4番原子選手が左本塁打を放ち4対3と逆転に成功した。その後4回の攻撃で1点を優位に進めた。マウンドを任されたエース

本田選手は、粘り強いピッチングで3回以降JAむかわ打線を無失点に抑え、5対3で接戦を制した。

決勝戦はJA伊達市と対戦。1回表に1点先制されたその裏、相手投手の不安定な立ち上がりで野手の守備の乱れに乗じて、本田選手の満塁打を含む打者2巡超の猛攻により一挙14点を奪った。その後も千葉選手の本塁打などで得点を重ね、5回コールドでJA伊達市に大勝し全道大会進出を決めた。

表彰式ではJAとまこまい広域に優勝旗が手渡され、最優秀選手賞には早来支所の千葉職員が、敢闘賞には施設課の原子職員、打撃賞には営農課の本田職員にそれぞれ贈られた。



▲対JA伊達市で満塁打を放った本田選手

第58回胆振管内JA野球大会 結果表

※時間制限により6回で試合終了

●1回戦	1回	2回	3回	4回	5回	6回	計
JAとまこまい広域	1	0	3	1	0	0	5
JAむかわ	2	1	0	0	0	0	3

投手―捕手 本田―原子

●決勝戦 ※大会規定により5回コールドで試合終了

	1回	2回	3回	4回	5回	計
JA伊達市	1	0	0	0	0	1
JAとまこまい広域	14	6	5	1	×	26

投手―捕手 本田、宮澤―原子

早来追分

第9回 あびら夏！うまかまつり

好天の下、安平町の夏の祭典開催

7月1日、2日の2日間、安平町ときわ公園にて「あびら夏！うまかまつり」が開催された。同まつりは今年で9年目となり、町内外の方にも恒例行事として定着している。

今回も青年部主催による「アサヒメロン早食い競争」の他、アサヒメロン、追分カンロなどの特産品を紹介・無料配布する「特産品試食PR」など数多くのイベントが行われた。また農畜産物直売では、はやきた和牛、内藤あんがす牛、ア



▲会場内は炭火焼きを楽しむ来場者で賑わった



▲今年も盛り上がりを見せたアサヒメロン早食い競争

サヒメロン、追分カンロ等の特産物や地場産野菜を販売した。

会場内では、「はやきた和牛焼コーナー」と、広域産の米を使用した「たんとうまいおにぎり販売」が2日間開催され、はやきた和牛とたんとうまいおにぎりを味わう姿が多く見られた。両日とも最高の天候に恵まれ、1日の前夜祭には花火大会、2日の本祭にはテツandtモさんや山本裕美子さんのタレントショーなども行われ、大盛況の内に幕を閉じた。

厚真

甘酸っぱい厚真町の味覚

厚真産ハスカップ出荷

厚真町ハスカップ部会（長谷誠良部会長）は6月28日、厚真町を代表する特産品「厚真産ハスカップ」の出荷をスタートした。同日は、生産農家25戸が総数量250箱（1箱12キロ入り）のハスカップを野菜集出荷場へ各自持ち込んだ。前年と比べて2日遅れての出荷となった。規格は「特大」「特A」などの大粒が中心で、翌29日、丸一苫小牧中央青果での初競りでは高値1パック（300グラム）千円の値が付いた。

厚真町はハスカップの栽培面積で日本



▲続々と生産者の手で持ち込まれるハスカップ



▲出荷された厚真産ハスカップ

一の規模を誇る一大生産地であり、栽培されている品種は「あつみらい」「ゆっしげ」の2品種。

「あつみらい」は、昔ながらのさわやかな酸味が特徴の品種。一方の「ゆっしげ」は甘さが強く濃厚な味が特徴の品種となっている。

今年の出来に「春先の低温の影響で収量は期待できないが、品質的には上々。今後は天候が良くなる見込みなので、より一層味がのってくる」と担当者は話す。

同部会は、現在106戸で約25haを栽培。7月上旬頃にピークを迎え、7月末まで出荷が行われる。

穂別

新札幌で穂別の特産品をPR

まるごとほべつフェア開催

6月30日から7月2日の3日間、サンピアザ光の広場の特設会場にてイオン新さっぽろ店主催の「まるごとほべつフェア」が開催された。今年で13年目を迎えたこのイベントは、穂別の特産品をPRしようという目的で始まり、生産部会、

農協職員が協力し合い一丸となって販売し、多くの来場者でにぎわった。

即売会では、ほべつメロン、ほべつカインロ「ともりん」の試食販売の他、長手、小松菜、アナスタシア（黒ピーマン）、ナンバンといった穂別の特産品が陳列され、3日間で総額580万円を販売した。

また、7月1日には

TVhの情報番組「スィッチン」でも特集され、穂別支所営農農産課の栗野職員が生放送に出演した。番組内では、ほべつメロンの特徴やおいしい食べ方などが紹介され、イベント最終日には「TVを見た」という来場者も多く、終始会場はお客様の絶えないまま終了した。

農協担当者は「消費者は毎年このイベントを楽しみにしている。期待に応えられるよう、これからも継続していきたい」と話した。



▲テレビの生放送に出演した栗野職員

追分

青年部が追分の特産品をPR販売

青年部追分支部メロン・カンロ即売会

7月13日、追分支部では青年部追分支部（中田昇吾支部長）による「メロン・カンロ即売会」が支所駐車場で開催された。同即売会は地場産の農産物を通して、地域住民との交流を深めることを目的として毎年開催しており、地域住民に人気の高いイベントとなっている。



▲開店前からテント前に殺到



▲販売は1人ずつ丁寧に

開催当日は天候に恵まれ気温も上昇したが、厳しい暑さの中、販売開始前から来場者の行列ができていた。今回は追分地区の特産品「アサヒメロン」「カンロ」を合わせて約100箱用意。「今年もおいしいメロンができました。暑い中来て頂きありがとうございます」と中田支部長が挨拶をし、販売がスタート。来場者の中には毎年青年部の即売会でアサヒメロン等を買いたい人も多く、用意した商品は次々と売れていき大盛況の内に終了した。

穂別

穂別支部青年部が躍動

むかわ町穂別流送まつり

「第34回むかわ町穂別流送まつり」が7月22日、23日の2日間、穂別ふれあい公園にて開催された。同まつりの目玉イベントである全道人間流送競技は、川のなかで人の背中を船頭が竹竿を巧みに操ってバランスを取りながら走りゴールまでの速さを競うのだが、今年度は雨の影響で川が増水し、実行委員会が協議した結果、9年ぶりに路上での競技となった。

流送競技には「JAとまこまい広域青年部穂別支部チーム」やJAとまこまい広域交歓会の有志で結成した「農協太郎

チーム」を含めた一般の部11チーム、男女混合の部2チーム、小学生の部2チームの計15チームがエントリー。各部2チームずつ出走し、タイムトライアル方式で順位を競った。一般の部ではJA青年部チームが他を寄せ付けない圧巻の走りです連覇を達成した。

本会場では、ほべつメロンのほか、青年部の焼き鳥、女性部穂別支部旬妻倶楽部の米粉と地場産野菜を使ったドーナツ、Aコープの焼肉の屋台が立ち並び、花火大会やお楽しみ抽選会等の催し物の他、青年部が小中学生のダンスグループやYOSAKOIソーランチームと合同でダンスパフォーマンスを披露し会場を大いに盛り上げた。



▲旬妻倶楽部はドーナツを販売



▲圧巻の走りで見事なJA青年部チーム

平成29年度

JAとまこまい広域 産地協議会 開催報告

7月21日、本所総合営農センター1号会議室にて道内外青果市場21社(中部4社・関西5社・中国4社・四国3社・九州2社・道内3社)を招いて、平成29年度の産地協議会を2年振りに開催しました。

当日は、南瓜(早来地区)と馬鈴しょ(厚真地区)のは場視察を行い、今年の生育状況について生産者及びJA職員より説明した上で、青果市場の販売担当者に現状を確認していただきました。

協議会ではホクレン物流部物流一課及び苫小牧支所小麦農産課より青果物の出回動向や物流情勢について説明し、今なお続く原油価格高騰に伴う運賃の値上げ、北海道新幹線開通に係わるJR貨物の現状、年々深刻化しているトラック運転手不足に対する対応策について報告されました。

その後、「南瓜・長芋・ゴボウ」「馬鈴しょ」の分科会を行い、各生産者代表が今年の作付概要・出荷計画等の産地情勢を説明しました。また、消費地情勢として、府県市場を代表し大阪中央青果株式会社・備後青果株式会社・広島東部青果株式会社の各市場から、的確な産地情報の提供と高品質な農産物の安定出荷を求められました。



▲南瓜の生育状況を確認する市場関係者



▲道内外から多数の市場関係者が集まる産地協議会

平成29年度 新採用職員家族昼食会

6月24日、JAとまこまい広域はJA本所にて、平成29年度新採用職員家族昼食会を実施しました。これは新採用職員とその家族を対象に、入組して間もない新採用職員が現在勤務している職場の雰囲気を家族の方々に感じてもらうことを目的に、今年初めての取り組みとして行いました。新採用職員7名とその家族及び職



▲初めての取り組みとして行われた家族昼食会

員の上司、JA役職員併せて25名が出席しました。

当日はJAとまこまい広域の紹介としてDVD映像を放映した後、上司から所属部署の概要や目標、新採用職員の現在の業務概要を説明し、新採用職員からは上司の説明に対する感想や今後の抱負等を語りました。

その後、会場を厚真園に移し、久しぶりの親子の会話に花を咲かせるなど、和やかな昼食会となりました。



▲上司から新採用職員の業務などを説明

道南・後志・日胆・石狩地区合同JA常参会海外研修報告

7月1日から8日の日程で、道南・後志・日胆・石狩地区合同JA常参会海外研修でカナダに行ってまいりました。田村常務(道南地区会長／JA新はこだて)を団長とし、12JAと連合会職員、農協観光の添乗含め23名の参加となりました。当JAから松原理事参事(副団長)、服部参事が参加させていただきましたので、組合員の皆様に研修概要を報告させていただきます。



1. サミットフォルム牧場(トロント郊外)

芽室町出身でカナダ在住50年のテリー鈴木さんの現地案内でした。

飼養頭数は850頭、うち搾乳牛は420頭で清潔なフリーストール牛舎です。搾乳は1日3回24頭同時搾乳のミルキングパーラーでした。

1頭の年間平均乳量は日本では9,500kgですが14,000kgかつ平均4.2産を搾っている高い生産性の牧場です。草地は320ha所有し、コーン・アルファルファを作付けしていますが、播種や収穫作業、サイレーンづくりまで専門の業者に委託しています。土壌診断、受精、妊娠鑑定、経営管理など専門の業者との連携を重視していました。敷料は砂を利用し、衛生管理、牛の足の損傷防止に細心の注意を払っていることが印象的でした。酪農経営において高品質な生乳生産、関連作業を委託し、高度な牛群管理で搾乳部門に傾注し収益性と生産性を追及した安定性と発展性のモデルでした。



▲サミットフォルム牧場

2. 加里鉱山ポタッシュ・コーポレーション・オブ・サスカチュワン(PCS)社とカンボテックス社(サスカトゥーン)

農作物の増収に不可欠な加里鉱石が産出される国は12カ国。カナダとロシアだけで世界の7割を占めており、PCS社はサスカチュワン州最大の鉱山を所有し、世界の2割を占める世界最大の加里生産会社です。我々はこの鉱山の採掘現場に潜り、採掘の現場から地上に搬出した加里鉱石を肥料原料や工業原料として精製する工程を視察しました。

精製された原料はカンボテックス社が鉄道で北米全体に販売、バンクーバーから専用の船も所有し、アジア各国に輸出しています。世界の加里需要は6,200万トンで、日本の需要は50万トン強。全農はカンボテックス社から15万トン程度輸入しています。



▲PCS社の加里鉱石掘削現場(地下1,000m)

3. ワイナリー シャトー・デ・シャルム社

ナイアガラ地方は、カナダのワイン生産量の8割を占める地帯です。ナイアガラオンザレイクはその中でもワインルートとよばれる地域にあるシャトー・デ・シャルム・ワイナリーを訪ねました。ここはフランス系ボスク家のワイナリーであり、4箇所で100haの栽培で収穫の機械化、防霜技術のIT化など先進技術と熟成する樽はブルゴーニュのオークにこだわるなど高品質ワインを製造しています。この地域ではハスカップも栽培されており、ジュースも販売されておりました。



◀カナダ産ハスカップジュース



▲シャトー・デ・シャルム社

4. 総体的に

7月1日はカナダ建国150周年の記念日でした。地震がほとんどなく、ガラス張りの高層建築が多く見られました。香港の中国返還に伴い、没収を恐れた中国人が移民に寛容なトロント他大都市に中国人街を拡大しつつありました。また、カナダは社会保障政策が手厚く、住み心地の良いお国柄であると感じました。有意義な研修に感謝申し上げます。

行程表

月 日	地 名	ス ケ ジ ュ ール
7月1日	日本/トロント	新千歳空港出発、トロント到着
2 日	ナイアガラ	ワイナリー シャトー・デ・シャルム社視察 (ナイアガラ・オン・ザ・レイク) ナイアガラ滝見学
3 日	トロント/サスカトゥーン	トロント近郊酪農家(サミットフォルム牧場)視察 全農アメリカとの懇談
4 日	サスカトゥーン	ポタッシュ・コーポレーション・オブ・サスカチュワン社視察訪問 カンボテックス社訪問
5 日	バンフ	バンフファーマーズマーケット視察 カナディアンロッキー見学
6 日	バンフ/バンクーバー	バンクーバー港湾施設視察
7 日	バンクーバー	バンクーバー出発
8 日	日 本	新千歳空港到着

さんさん あぐり講座

胆振農業改良普及センター東胆振支所

ハスカップの 収穫後の 管理について

～来年の収穫へ向けて、収穫終了後からしっかり管理しましょう～

○分肥（お礼肥）

①分肥実施の目安

- ・2kg以上収穫した株
- ・樹勢が弱っている（新梢の伸びが弱い）株

②施肥量

- ・窒素成分として2kg/10a程度を施用する。
- ・化成肥料等の即効性のものを使用する。

※施肥する際は、株の周り（枝の先端よりやや広め）に散布する。



○夏季せん定（枝梢管理）

- ・翌年の芽の充実には、収穫後から落葉までに株の中心まで十分に光が入ることが重要です。
- ・樹勢が強い株を中心に、混み合っていたり日陰をつくる新梢を間引く様に切除しましょう。

○カイガラムシ類対策について

近年、カイガラムシ類の発生が増えていますので、対策を行いましょう。

①生態

- ・中齢幼虫は根幹の樹皮の裂け目で越冬する。
- ・5月下旬～6月上旬に成虫となる。
- ・卵は7月上旬～中旬にふ化し、幼虫は葉裏に移動し吸汁する。
- ・幼虫は落葉前に根幹へ移動し、樹皮の下で越冬する。

②耕種的防除

- ・夏季せん定（枝梢管理）または、せん定時に寄生密度が高い枝を除去する。
- ・粗皮を削り、越冬できない環境づくりに努める。

③化学的防除

- ・越冬成虫の防除（3月～4月頃）で密度低下を図る。



薬 剤 名	希 釈 倍 数	使 用 時 期	使 用 回 数
機械油乳剤 95	12～14倍	発 芽 前	—

ワンポイント営農情報

平成29年度にクリーン農業係でサポートを予定している各種試験の事業課題と対策内容についてご紹介致します。

平成29年度に設置された「試験事業」

水稻栽培全般の課題解決に向けた技術対策

試 験 課 題	対 策 内 容 の 概 要
水稻直播技術の検証	厚真地区の6戸1,389aでの栽培適地判定
乳苗（密苗）技術の検証	厚真・穂別地区の7戸、省力化、地域適性を確認
特別栽培米の技術確立	ガイドラインに基づく栽培実証、4戸232a
高窒素肥料による省力化実証	側条銘柄（窒素34%）10kg/10a施用、厚真2戸
水稻除草の省力化技術の検証	厚真・穂別地区ドローンの活用、豆つぶ剤の効果
その他試験…鉄ケイカル施用、残草処理、水稻体系処理除草剤、直播対応除草剤、稲わら搬出事業	

畑作の肥培・防除・栽培体系の課題解決に向けた重点技術対策

試 験 課 題	対 策 内 容 の 概 要
春小麦における調整型肥料	増収に向けた栽培適性判定、厚真地区1戸
大豆マメシンクイガ対策	4支所の予察圃設置による適期指導の推進
大豆のシストセンチュウ対策	緑肥活用による栽培実証、厚真地区1戸
耕畜連携による畑地改良対策	酪農粗飼料確保、早来・追分地区耕種5戸39ha
その他試験…土壌吸着係数による薬害判定（畑作全般管内7箇所）、秋小麦葉枯症対策資材	

東胆振奨励品種決定圃

水 稻	厚真町に設置
豆 類	安平町早来に設置
小 麦	安平町追分に設置

「北海265号」生産試験（北海道奨励品種認定）

試験目的…生産者と実需者双方にメリットのある品種採用
品種特性…「ゆめちから」をベースに多収性・穂発芽耐性が優れる
試験圃場…安平町早来瑞穂に1～1.5haを予定
・平成29年9月播種により設置
・ホクレンで製粉試験を予定

本年6月 安平町追分
小麦奨励品種決定圃で小麦青空教室を開催

野菜関係の実証試験

試 験 課 題	対 策 内 容 の 概 要
ハウレン草連作障害対策	転炉スラグ技術の効果判定、厚真地区2箇所
馬鈴薯品質・収量向上	カルシウム資材施肥による効果検証
スマート農業の検証…情報通信技術（ICT）に対応するGPS基地エリア等を確認	

試験事業の詳しい内容を知りたい方は営農部営農課クリーン農業係までお問い合わせください。

【電話番号 0145-27-2246】

📧 今月のあたより

いままであつかった。

安平町 且見 遙さん

夏休み、キャンプにいくよ。

新冠町 さかき ゆうひさん

最近、プールでクロールののれんしゅうをやったので、うまくなった。

安平町 門田 まほさん

👉 編集者から

今号の編集中の時は暑さが一段落した頃でしたが、3か月予報では今後も気温が高いという予報が出ていました。暑さはまだまだ続きそうです。

👉 編集者から

キャンプをする時期としたら、やっぱり夏。山でも海でも楽しそうですね。いい思い出が作れるといいですね。

👉 編集者から

海やプールでメジャーな泳法といえばクロールを思い浮かべる方も多いのでは。他の泳法も練習するといいかもしれませんよ。

みんなのコーナー



安平町 且見 遙さん



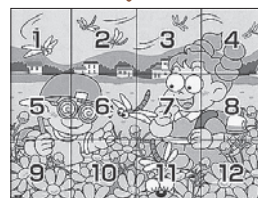
新冠町 さかき ゆうひさん

まちがしまがし

下記のイラストの左右で違う部分、5カ所を探してください。



違う部分を下記の枠内の数字で答え、裏表紙の解答用紙に記入して下さい。



🎁 プレゼント 7月号プレゼント当選者

先月号の答えは「4・6・8・9・11」でした。
応募総数11名の中から
当選された方々には図書カードをお送りします。

西田 由紀子 (安平町)	永澤 美奈子 (苦小牧市)
青木 里子 (平取町)	山本 二胡 (札幌市)
木戸 美千子 (厚真町)	中川 昌哉 (白老町)

(敬称略)

お悔やみ 謹んでご冥福をお祈りいたします。

支所名	氏名	享年	月日
早来	出口 角也さん	94	6/12
厚真	北野 正一さん	90	6/25



期待の農力

牛は肥えて、自分は痩せるくらい頑張る



ふじ え ゆうすけ
藤江 祐輔さん (36歳)
むかわ町穂別稲里

昭和56年、旧穂別町稲里（現・むかわ町穂別稲里）で藤江政利さん、加津子さんの長男として生まれる。

北海道穂別高校を卒業後、現・北海道科学大学電気工学科へ進学。卒業後、現・株式会社メイテックフィルダーズでエンジニアとして8年勤めた後にリターン就農する。

きっかけと家の仕事

「本当は高校卒業してすぐ就農したかった」と話す祐輔さん。両親から「家を継ぎたいなら、まず社会を学んでこい」と言われたこともあり、大学へ進学し、普通に就職した。札幌や東京といった都市部での生活に疲れてきたころ、田舎で悠々自適な暮らしをしたと思い改めて就農を決意する。

祐輔さんの家では和牛35頭を主軸に牧草30ha、水稲1ha、南瓜

将来の展望

祐輔さんは今年の7月20日に設立した、JAとまこまい広域和牛振興協議会担い手部会の監事に任命され、「広域管内の若手と牛生産者と勉強、意見交換、交流を図りながら、JAとまこまい広域和牛改良組合、広域産和牛の市場評価の向上、質の向上を目指していきたい」と今後の抱負を語った。

最後に、「牛は肥えて、自分は痩せるくらい頑張りたい。父も60歳になり、経営移譲へのカウントダウンは始まっている。将来的には繁殖牛50頭を目標に、牛を主体とした経営をしていきたい」と将来の展望について話した。

0.5ha、メロン450m、カンロ100mを作付しており、いざ就農してみると、日々の牛の世話や各作物の収穫作業等で思っていた以上にのんびりはできてなかったと当時を振り返る。

現在は、政利さんとはほぼ分業で農作業を行っており、祐輔さんは牛と牧草地の作業全般を任されている。就農当時繁殖牛は16頭ほどだったが、現在は倍以上に増え、分娩間隔や仔牛の事故防止など、より一層気が抜けなくなったが、市場で自分の育てた牛が高値で取引されるととてもやりがいを感じる」と話した。

ホクレン南北海道黒毛和種市場 広域農協支所別取引成績(7月) 平成29年7月6日

	性別	成立頭数(頭)	価格平均(円)	平均日齢/体重(kg)	平均kg/単価(円)
白老	去勢	44	802,000	1.176	2,321
	雌	32	686,969	1.024	2,162
苦小牧	去勢	4	765,000	1.191	2,272
	雌	5	657,800	1.019	2,215
早来	去勢	28	865,607	1.212	2,474
	雌	17	666,412	1.051	2,065
追分	去勢	—	—	—	—
	雌	3	686,667	1.098	2,157
厚真	去勢	23	841,130	1.207	2,440
	雌	15	669,667	1.050	2,087
穂別	去勢	12	782,417	1.108	2,353
	雌	12	597,500	1.035	1,850
とまこまい広域	去勢	111	822,703	1.184	2,386
	雌	84	665,190	1.038	2,087
胆振管内	去勢	213	828,465	1.167	2,446
	雌	138	686,522	1.027	2,180
市場計	去勢	882	800,319	1.142	2,429
	雌	595	687,798	1.005	2,236

北海道地方 3ヶ月予報

予報期間/8月～10月 平成29年7月25日
札幌管区気象台発表

【予想される向こう3ヶ月の天候】

向こう3ヶ月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。この期間の平均気温は、高い確率50%です。

気温予想				降水量予想(太平洋側)			
3ヵ月	低20%	並30%	高50%	3ヵ月	低30%	並30%	高40%
8月	低20%	並40%	高40%	8月	低20%	並40%	高40%
9月	低20%	並30%	高50%	9月	低30%	並40%	高30%
10月	低20%	並40%	高40%	10月	低30%	並40%	高30%

8月 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または高い確率ともに40%です。

9月 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、高い確率50%です。

10月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

理事会報告

平成29年7月24日(月)に穂別支所研修室で第7回理事会(移動理事会)が開催され、次の事項について報告、協議、承認がされました。



1. 一般報告と当面する諸行事について
2. 5月末財務報告について
3. 7月15日現在の農作物生育状況報告について
4. 組合員の異動について
・5月末現在 正組合員 984人(前月対比▲2人)
准組合員4,312人(前月対比▲2人)
5. 青果物集出荷予冷貯蔵施設建設に係わる競争入札の結果について
6. 固定資産の取得、処分について
7. 「固定資産・車輛確認」「支所の日」の開催結果について
8. 長期共済一斉推進結果について
9. 29年度米・大豆の出荷契約と30年度小麦の播種前契約について
10. 29年度家畜共進会・枝肉共励会の結果(完了分)について



- | | |
|--|---------------------------------------|
| 議案第1号 変更承認申請に際する行政庁からの指示に基づく定款の一部改正について | 議案第6号 競売申立にかかる予納金の追加納付について |
| 議案第2号 会議体管理規程の一部改正について | 議案第7号 長期固定化債権にかかる抵当権設定地の任意売却価格の提示について |
| 議案第3号 厚真支所乾燥調製自主検定要領の一部改正について | 議案第8号 出資の減口と譲渡について |
| 議案第4号 平成29年度麦乾燥調製施設自主検査員の選任について | 議案第9号 理事の貸付について |
| 議案第5号 青果物集出荷予冷貯蔵施設のコンテナ導入に係わる指名競争入札の業者選定について | |

※理事会終了後、穂別支所事務所・構内及び旧稲里直売所、稲里山林を視察致しました。

青果物集出荷 予冷貯蔵施設新築工事地鎮祭

7月18日、厚真町上野地区にある上野施設団地にて青果物集出荷予冷貯蔵施設の新築工事地鎮祭を行いました。地鎮祭には秋永徹代表理事組合長をはじめ、厚真町、JA生産組織、工事関係者、JA役職員等50名が出席し、工事の安全と同施設の無事完成を願いました。



今回建設される青果物集出荷予冷貯蔵施設は、延床面積1,454㎡の鉄骨造・平

屋建てで、厚真町特産物である氷室メークイン、ハスカップ等の貯蔵、ほうれんそう等青果物選果場と集出荷貯蔵を一体的に行うことにより、作業の効率化と品質向上に大きく貢献する施設であり、より一層の産地化に向けた拠点施設であると位置づけています。

地鎮祭にあたり秋永組合長は「この施設は厚真町をはじめ、関係機関等のご協力の下、建設することができた。今後も安心安全な農産物を安定して道内外に出荷し有利販売に繋げたい」と挨拶しました。

大豆貯蔵施設に隣接する敷地内に7月12日より着工し、来年1月26日の完成を目指します。



JA 日誌

2017 8月

16日(水)

17日(木)

JAカレッジ生徒実習(～9月2日 畠山広大君)
日胆地区JA共済推進委員会(苫小牧)

18日(金)

19日(土)

20日(日)

第17回集まりンピック(厚真かしわ球場)

21日(月)

22日(火)

23日(水)

24日(木)

東胆振指導農業士農業士夏季研修(岩見沢)

25日(金)

第7回経営会議(予定)
馬歯酒お披露目会(追分)

26日(土)

27日(日)

2017日胆畜産共進会(安平)
こぶしの湯謝恩フェスティバル(厚真)

28日(月)

第7回企画会議
日胆地区青年部長会議

29日(火)

第2四半期定期監査(～31日)
北海道うち米共計委員会(札幌)

30日(水)

組合員代表訴訟弁論準備手続き
日胆地区組合長会、常参会合同会議

31日(木)

いずみ、のぞみ幼稚園芋掘り体験(厚真)
乳牛市場

2017 9月

1日(金)

苫小牧あつま会総会(苫小牧)
生産委員会、たまや産地訪問

2日(土)

むかわ町青年部PRイベント(～3日)イオン苫小牧
肉牛市場

3日(日)

北海道肉用牛共進会

4日(月)

第4回経営指導委員会、第9回理事会

5日(火)

全中期中監査工(～8日)

6日(水)

厚真支所農事組合長会議(予定)

7日(木)

第11回全国和牛能力共進会(宮城県、～11日)

8日(金)

ホクレン長沼研究所オープンデー
日胆地区女性部会議

9日(土)

10日(日)

11日(月)

12日(火)

JA役職員連盟全道野球大会(江別、～13日)

13日(水)

14日(木)

4地区専務会現地研修(道南方面、～15日)

15日(金)

平成29年度北海道枝肉共励会 肉豚の部(安平)

JA
からの
お知らせ

JA イベント情報

日胆地区JA青年部PRイベント開催

例年、道の駅ウトナイ湖にて開催していましたが、消費者に日胆地区の食と農に触れ合ってもらいつつ、日胆地区JA青年部の活動内容についてPRすることを趣旨に、今年度は会場を門別競馬場に替えて開催することとなりました。

当日は抽選で農産物をプレゼントする企画の他、日胆地区の農産物や軽種馬に関するパネル展示などの催し物を用意しておりますので、多くの方のご来場をお待ちしております。

開催日時 平成29年9月13日(水)
午後4時～午後7時まで(雨天決行)

開催場所 門別競馬場(沙流郡日高町富川駒丘76番地1)

准組合員イベント「秋のいも掘り体験」

来る9月2日(土)、農業体験を通じ、農業への理解伸張、JA事業を利用していただけるファンの拡大をはかることを目的に、准組合員を対象とした「秋のいも掘り体験」を厚真町で開催致します。

当日はいも掘り体験の他、野外特設会場にて昼食会や広域農畜産物や加工品の即売会を予定しています。

既にたくさんのご応募をいただいておりますが、全ての方にご参加いただきたいところではありますが、ほ場の都合もあり8月上旬に厳粛なる抽選を行うこととなりました。当選された定員100名の方へは8月10日以降、詳細のご連絡をもってかえさせていただきます。



お問い合わせ先 営農部営農課(直通 0145-27-2246)

JAバンクからのお知らせ

ATM・JAネットバンク等のサービスを
一時停止させていただきます

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

このたび、JAバンクの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JAネットバンク等のサービスを一時休止させていただきます。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

休止日 平成29年9月16日(土)・17日(日)

休止させていただくサービス

- ①JAバンクのATM ②コンビニ等のATM
③ネットバンク(個人・法人)サービス ④デビットカードサービス